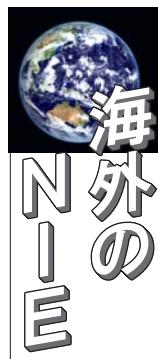








米国が発祥といわれるNIE活動は、世界新聞協会のまとめで日本を含む60カ国以上で活動が繰り広げられている。しかし、お国柄を反映してその形態はさまざま。現場の先生や財団、推進協議会関係者が視察などで目にした海外事情を紹介する。



①

# 中国語学習に活用



シンガポールの新聞社で行われた大阪NIE推進協との交流

## 編集後記

○…新たな出会いと可能性への期待が膨らむ春学期がスタート。これに先立ち、来年2011年度から小学校で使われる教科書検定で、新学習指導要領を反映させた各社のテキストが出そろった。

○…中でも新聞を読む言語活動を紹介するものが増えた。情報化社会を生き抜くための読解力、思考力を養う、必要不可欠なツールである新聞。学力テストの中學国語Bにも新聞形式の問題が初めて登場し、新聞を生かす取り組みが重要、との認識がやっと定着した格好だ。これを機に、各教育現場で新聞に触れる活動が一段と広がり、活発化することを期待したい。

○…今号から1年間にわたり、NIEの海外事情報告を連載する。第1回は大阪推進協議会が独自に派遣したシンガポールへの視察団報告。内田事務局長に書いていたが、NIEをどう育てていくかという同協議会の積極姿勢が伝わってくる内容だと思う。(大)

大阪NIE推進協議会のメンバーとして昨年、東南アジアの経済立国シンガポールを訪問した。そこで、シンガポールの新聞社や南華中学校と交流した。

同国の新聞は、多角経営の政府系持株会社シンガポール・プレス・ホールディングズのほぼ独占状態にある。しかし、日本同様、購読者数の減少という問題に直面。小学生向けの「大拇指」と中高生向けの「星期5周報」の中国系週刊新聞2紙を発行し、大人になった時に一般紙の購読になげたいとのことだった。

この新聞は、主に英語を使う生活の中で、中国語や中国の伝統・文化の継承という役割を担っている。從つてNIE活動は中国語の授業が中心。「日本では国語に限らず、いろいろな教科や領域で新聞を活用している」と話すと、新聞社側の全員から驚きの声が上が

## シンガポール

シンガポールの児童・生徒はTIMSS(国際数学・理科教育動向調査)で高い学力を維持している。しかし、義務教育制(6年間)、まだ残る2部授業、公用語(マレー語・タミル語・英語・中国語)などに課題がありそうだった。

南華中学校では中国語学習に力を入れていた。その一環としてNIEを取り入れ、新聞社や教育省との連携を進めている。週2回、始業前の20分間、講堂で全校生徒が「星期5周報」や「聯合早報」などの新聞を読む。テストで新聞記事から出題することもあり、生徒は熱心に取り組むとい



## 始業前、全生徒が読む

い選別が高学力の要因の一つかないかと感じた。

たまたま、小学生の下校風景を見た。子どもが祖父やメードにかばんを持たせてゆうゆうと歩いている。学校では子どもに掃除もさせないと現地ガイドから聞き、これで良いのだろうかと思った。

大分県新聞活用教育(NIE)協議会は1994年に発足。朝日、読売、毎日、日経、西日本、時事、共同、大分合同の各社で構成しているが、学校関係や教育委

## 大分県推進協発足へ

### 全国44番目

「大分県NIE推進協議会」が全国44番目の推進協議会として6月上旬に発足する。

新学習指導要領に新聞活用が大幅に盛り込まれたことから、県教委と小・中・高校の校長会が新たに加わり、推進協議会としてNIEの本格実施を目指すことになった。

大分合同新聞NIE担当の白倉純編集局次長は「組織をしっかりと作り、NIEをこれまで以上に推進したい」と話している。

## NIEセミナー 釧路で6月26日

当協議会主催の第9回NIE釧路セミナーは、6月26日(土)午後1時30分から、北海道新聞釧路支社(釧路市黒金町11)で開かれる。

セミナーでは北海道教育大学釧路校の本橋幸康准教授(釧路市黒金町11)で開かれる。

中・木下正大教諭▽道教育大附属釧路中・村瀬清史教諭▽釧路明輝高・安田耕一

議会事務局へ。

報告者は次の通り。

◇帯広市立啓西小・森谷

栄介教諭▽白糠町立庶路

教諭

## お知らせ

授が特別講演する。本橋

教授は国立教育政策研究所・教育課程研究センターの学力調査官などを務め、当日は「学力とNIE」について分析を試みる。引き

続き実践報告。セミナーは

無料で、参加申し込みは協